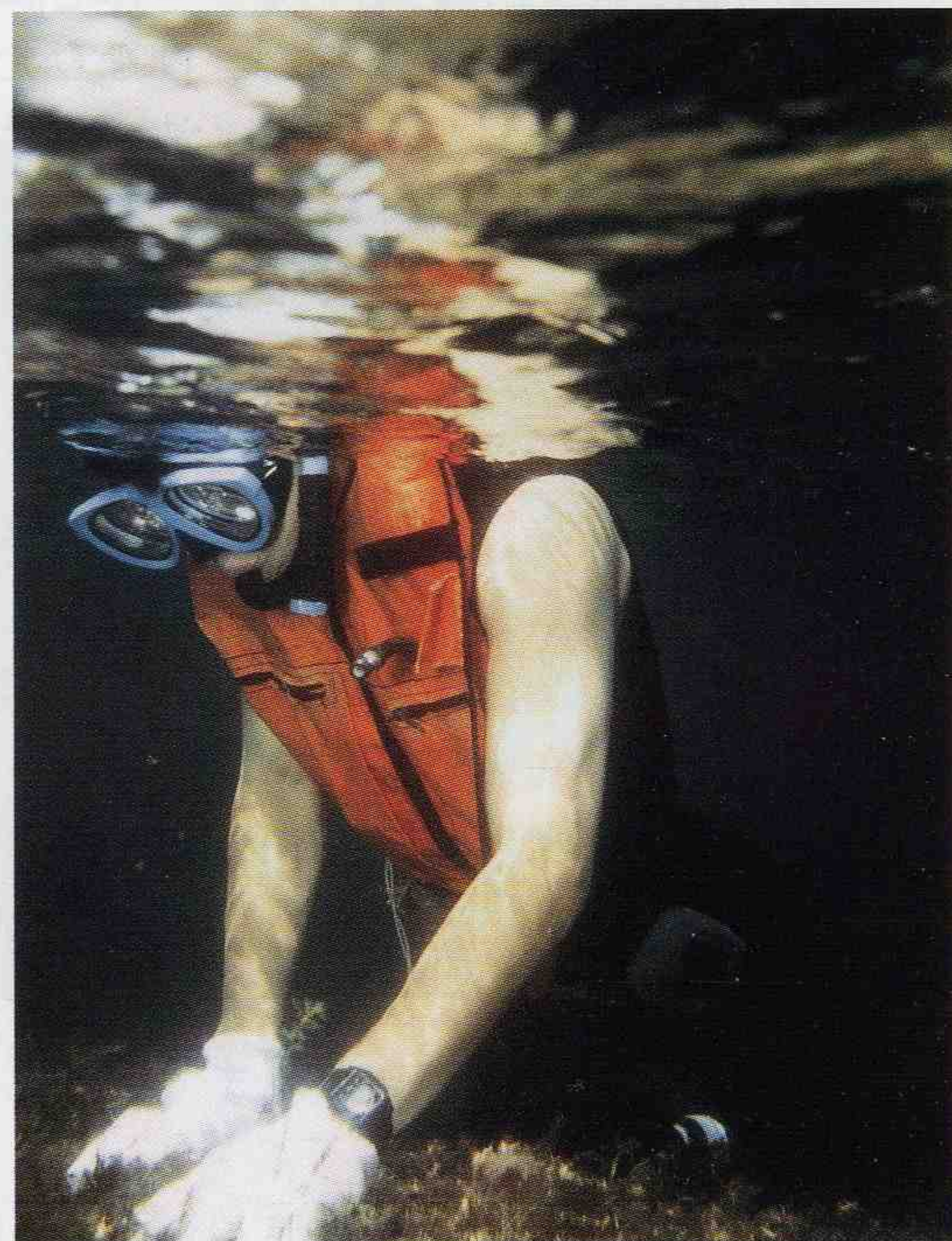


おすすめの観察地

福井市の亀島周辺の浅海域。

スノーケリングでのエントリーが快適。初秋の透き通った海中に驚くほどブルーが映えるソラスズメダイの幼魚の大群や、10月頃のアオリイカの大物の群れ、更には亀島の外海側のやや深い海中を悠然と泳ぎ回る大型のマダイの群れなどなど、手軽に海の生物の魅力が満喫できます！



今まで観察した中で、いちばん印象に残っていることは？

休暇をとって行かせてもらった小笠原の海。たった300トンの貨物船に乗り込んで小笠原に向かったのですが、途中季節はずれの台風接近！大波に船が宙を舞うような状況で、生きた心地がしない足掛け3日の船旅を経験。でも、滞在した約2週間、特に母島では、イセエビが手掴みできるような海に毎日潜り放題。釣ってきた魚（釣糸を垂らすとすぐかかる！）を快く料理してくれる民宿で、同宿の人たちと家族のように毎日食卓を囲んだのが忘れられません。

おすすめの本は何ですか？

『イルカと、海に還る日』（ジャック・マイヨール著、関邦博訳、講談社）

素潜りの元世界チャンピオン、ジャック・マイヨールが半生を綴った本です。「人間にイルカたち海生哺乳類と共通する生理特性があり、これまで考えられていたより以上に人間は深く長く素潜りすることが可能である。」この新事実は、著者自身の潜水実験により検証されており、海好き人間には必見！

福井県の自然について感じていることは？

三方海中公園地区の魚影が年々薄くなっていること。魚だけでなく、特に常神の海中洞窟内の多様な生物相が、刻々と単調なものに荒廃しているなど、気掛かりなことが多くて……。